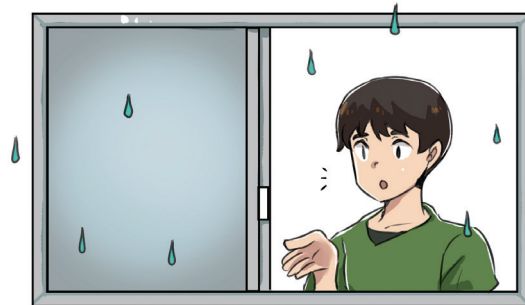


知っていると便利！にほんごのオノマトペ

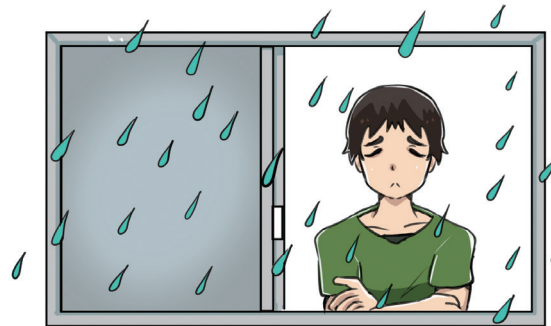
第1回 あめ 雨

こうえきしゃだんほうじん こくさいにほんごふきゅうきょうかい 公益社団法人 国際日本語普及協会 武田 由美 イラスト：リオ輔

ぽつぽつ



ザーザー



びしょびしょ

日本語で話すとき、「お腹ぺこぺこ」とか、「にこにこ笑う」と言います。「お腹空いた」や「笑う」に「ぺこぺこ」や「にこにこ」という言葉を付けて、様子を表しています。「ぺこぺこ」や「にこにこ」を付けたほうがどんな様子かわかりやすいです。それから、漫画にはドアをたたくとき、「トントン」とカタカナで書いてあったり、犬が鳴いているとき、「ワンワン」と書いてあったりします。「トントン」や「ワンワン」は、音を文字で表しています。様子や音の言葉を「オノマトペ」と呼びます。今回は雨が降っている音や様子などの「オノマトペ」を紹介します。

①雨が降り始めました。でも、弱い雨です。雨が降り始めたとき、「雨がポツポツ降ってきました」と言

います。傘を差さなくても大丈夫です。そのぐらいの雨が降っているときに使います。「ポツポツ降ってきたけれど、走って帰れば大丈夫です」のように使います。同じように雨が降り始めたときに「ぽつりぽつり」ということもできます。

②反対に、強い雨が降っているときは、「雨がザーザー降っています」と言います。強い雨が降っているときの音です。「ザーザー」という音に聞こえます。急に強い雨が降ってきたときは、「雨がザーッと降ってきた」ということもできます。「ザーザー降り」という言葉もあります。傘を差していても靴や足が濡れてしまうくらい激しい雨のときに使います。天気予報では「ザーザー降り」と言ったり、「土砂降り」と言った

ります。

③最後に、私たちが雨に濡れた様子を言うときの言葉もあります。「びしょびしょに濡れちゃった」とか「雨で服がびしょ濡れだ」と言います。「びしょびしょ」と2回言うのですが、「びしょ濡れ」というときは、「びしょ」は1回だけです。「びしょびしょ濡れ」とは言いません。

「びしょびしょ」はたくさん濡れているときに使う言葉なので、「暑くて、シャツがすぐ汗でびしょびしょになった」「水で床がびしょびしょに濡れている」のように、汗や水などでたくさん濡れているときは、雨ではなくても使うことができます。